

川崎市立日本民家園所蔵伊藤家文書  
「防除の志おり」の翻刻と若干の検討

——多摩丘陵の農家の一年を探る資料として——

Reprinting and Some Examinations of the Ito Family's  
“Shiori of Pest Control,” a Document in the Collection of the  
Nihon Minkaen: as a resource for exploring a year in the  
life of a farmer in the Tama Hills

真保 元

キーワード：日本民家園，多摩丘陵，農家，日記，伊藤家

目次

はじめに

I 資料概要

II 翻刻「防除の志おり」

III 内容解説

おわりに

注

参考文献

## はじめに

川崎市立日本民家園（以下民家園）は神奈川県川崎市多摩区にある野外博物館で、昭和 42（1967）年に開園し、国内各地の地域の特色を反映した江戸時代の民家など 25 棟の文化財建造物の移築・展示を行っている。本稿は民家園の発足のきっかけともなった伊藤家住宅に関連した資料を報告するものである。

伊藤家をめぐる調査研究については、関口欣也による昭和 30（1955）年の調査記録がまずあげられる。関口は移築前の伊藤家住宅について、建築史的観点から報告を行い、あわせて伊藤家のあった神奈川県川崎市麻生区金程地域近隣を対象とした統計的意識調査も行っている [関口 2003]。また、民家園では民俗調査報告書（以下報告書）が平成 19（2007）年に刊行されており、平成 18（2006）年から平成 19（2007）年にかけて、先代当主である伊藤西造氏に聞き取りを行い、衣食住、生業、交通・交易、年中行事、人生儀礼、信仰と体系的な調査報告をまとめている [川崎市立日本民家園 2007]。令和 4（2022）年には上記の経緯から寄贈された資料群を記録するための目録の補遺編が刊行されている [川崎市立日本民家園 2022]。

なお、金程という地域を対象とした研究報告としては、平成元（1989）年度に川崎市市民ミュージアムが『川崎市民俗文化財調査報告書—麻生区・多摩区の農耕習俗—』を刊行しており、その中に麻生区細山地区（旧生田村細山金程）として、細山と金程の報告がまとめて行われている [川崎市農耕習俗調査団 1989]。また、田中宣一は後述の区画整理前の記録を作成するために、金程の年中行事や祝儀不祝儀などの民俗慣行や小祠・石造物・墓地について調査成果を報告している [田中 1980]。

さて、民家園が令和 3（2021）年度に、現当主の伊藤廣一氏から寄贈を受けた資料の一つに、本稿で対象とする「防除の志おり」（以下「しおり」とする）がある。本資料は伊藤西造氏が主に農作業の記録として使用していたものであり、同時に農作業以外の日常生活も記述されている、つまり日記的資

料といえる。本稿ではその「しおり」を翻刻し、既刊報告書などと比較しつつ記載事項のいくつかに検討を加えることで、資料紹介に代えたい。

## I 資料概要

本章では資料翻刻に入る前段階として伊藤家の概要および資料が寄贈されるまでの経緯、資料の概要について述べることにする。まずは伊藤家の地理的概要について、簡単ではあるが整理したい。伊藤家の所在地は現在の神奈川県川崎市麻生区金程である。地形としては多摩丘陵の谷の縁にあり、谷戸地形である。多摩丘陵は、神奈川県東部の多摩川と境川に挟まれた地域に広がる丘陵地である〔角川日本地名大辞典〕編纂委員会・竹内理三（編）1984：574〕。高度経済成長期以降、住宅・団地の建設が進み、自然景観が大きく変化した〔平凡社地方資料センター（編）2002：45-46〕。当該地域は1980年代からの区画整理で田畑山林の大半はベッドタウンとなった。金程の航空写真である図1~4を参照されたい<sup>1)</sup>。1970年代までは区画整理が進んでいなかったが（図1）、1980年頃からは区画整理が進行し（図2、3）、現在ではニュータウンへと変化している（図4）。



図1 1979~1983年の金程（国土地理院地図より引用）



図2 1984～1986年の金程（国土地理院地図より引用）



図3 1987～1990年の金程（国土地理院地図より引用）



図4 2019年の金程（国土地理院地図より引用）

金程地区の人口について、田中は、川崎市統計書では昭和34（1959）年度まで細山地区・金程地区が一緒に記載されていたため、金程地区のみの数値は不明である。細山・金程の合計は年により微増微減している状態で、金程も同じであったと推測すれば、昭和35（1960）年になってはじめて金程のみの独立した統計数値が示されるまでは十数戸のまま続いていたと推測している。しかし、昭和37（1962）年になると人口は59戸219人と急増し、以後毎年増加し続け昭和51（1976）年338戸1161人となっている。このことから、金程地区に新規加入の家が増えて人口が急増するのは昭和30年代半ば以降であるとしている〔田中 1980：2〕。本稿で扱う資料は後述のように昭和33年度の記録のため、人口増加期の直前の記録にあたるといえよう。

次に、民家園に当該資料が寄贈された経緯をおさえておく。令和3（2021）年度に、金程にある伊藤家の蔵に収蔵されていた民具類が前述の廣一氏から寄贈された。資料の一部は令和4（2022）年度の企画展「倉に眠る道具たち—日本民家園新収蔵資料展—」に展示された。本稿で対象とする「しおり」もそのうちの一つである。先述のように「しおり」は日記としての性格を有しており、先行研究の調査結果を、資料に則して具体化することを可能にすると

思われる。

続いて、資料の概要を述べたい。「防除の志おり」(資料番号：2021-001-D-151) [川崎市立日本民家園 2022：23] は「農業協同組合懸連合会・全購連」<sup>2)</sup> によって昭和 32 (1957) 年に刊行されたもので、西造氏の書き込みは昭和 33 (1958) 年度のものである<sup>3)</sup>。縦 21×横 15 センチほどの紙製冊子である。構成としては全 48 ページで、1 ページは「はじめに」、2~5 ページは農薬の上手な使い方など、農業害虫を防除するための注意書きが記載されている。6~17 ページは主要な農薬一覧や希釈表、中毒とその解毒法などが記載されている。総じて、農業用のハンドブックであったといえよう。18~41 ページはカレンダー風のメモ用ページとなっており、42~48 ページは白紙となっている。西造氏は 18~48 ページを農作業記録として利用している。

先述の「しおり」のメモ欄にはあらかじめ「日付」「旧暦」「作業記録」の欄が印字されている(図 5)。西造氏は旧暦の欄を天気のカラムとして活用しており、記録は全編を通して鉛筆で書かれている。見開き右下側下部には特記事項

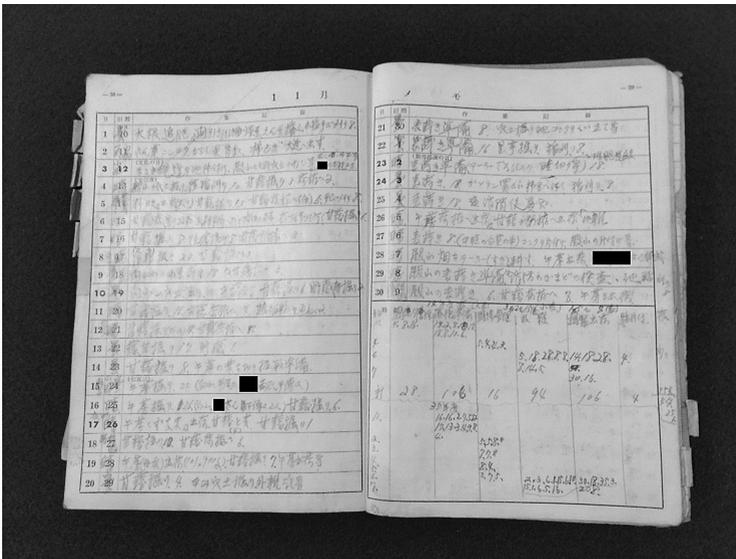


図 5 「防除の志おり」11 月分 (2022 年 11 月筆者撮影、プライバシーに関わる箇所を加工)

欄が設けられているが、西造氏は同欄で前年度の作物の計算を行っている。先述の「しおり」の構成で確認した通り、12月までの記録の次からは6ページにわたり白紙となっているが、西造氏は自ら罫線を引くことで農業記録を記載している（表29～35）。その他にも、白色、黄色、ピンク色のメモ用紙が計3枚挟まっており、これらにも農業記録を記載していた（表9、14、15、36、37）。これらのメモ用紙の内容は、それぞれが挟まっていた月の部分で紹介する。年間を通して記録が漏れることはほぼなく、天気も記述されていることから、多摩丘陵の農家の一年をとらえていくうえでは貴重な資料である。

伊藤家については先述のように、これまで関口の研究や民家園による聞き取り調査が行われている。また、金程という地域についても田中は人口が急増する昭和35（1960）年以前は地域の様相は異なっていたとしており、水稲栽培は今（筆者注：執筆当時）より多く、畑には夏は陸稲、秋から初夏にかけては麦（大麦・小麦・裸麦）が多く作付けされていたという〔田中1980：3〕。本稿で対象とする資料はこれらの調査の間隙を埋めるものとしても位置づけられると考えている。

本章では資料の解題に入るための前提として資料の概要を述べた。「しおり」は農業用ハンドブックともいえる冊子であり、西造氏によって日常の記録としても記述されたことから、多摩丘陵の農家の一年を把握することができる資料となる。そのことを念頭に、次章では「しおり」記載事項の翻刻を掲載する。

## II 翻刻「防除の志おり」

本稿では、翻刻にあたり、以下のような統一、加筆を行った。

- (1) 本稿では、日本民家園所蔵「防除の志おり」〔川崎市立日本民家園2022：23〕のうち、18ページ～48ページを翻刻した。
- (2) 資料の表1から表37については、次のように翻刻した。
  - ①漢字は原則として原文から改めずに表記した。必要と認めたものは常用漢字に改めた。

- ②仮名遣いは原文通りである。また、句読点も原文通りであるが、一部判別がつかないものも存在した。
- ③プライバシーなどに関わる箇所は文字数に応じて■で、判読不明な文字は□で、誤字・脱字・誤用と思われる箇所には、(ママ)、(カ)と、注記した。
- ④翻刻にあたり、資料の閲覧性を考慮するため、句読点類の統一などの若干の編集を加えた。
- ⑤表 10 に関してはページ編集の都合上備考欄を本文におさめた。
- ⑥原文ママとした箇所とその理由については以下の通りである。
- 「ピーマ」、「れん草」もそれぞれピーマン、ほうれん草であると思われる。
  - 「耕耘棧」が文中に出てくるが、耕耘機のことと思われる。
  - 「馬鈴薯」および「馬鈴」と表記が揺れる箇所。
  - 原文では「棧」という字を「機」の代わりに使っているが、原文ママとした。
- ⑦用語の統一については以下の通りである。
- 地名に関して、高石（川崎市）が出てくるが、「高」と「高」の区別がつかない箇所があったため、翻刻の際は「高石」と統一した。

表1 1月(18・19ページ)

日付	天気	作業記録
1	雪	休 書類整理整とん(ママ)
2	晴	雪はき.(一部).初市に〇に中”市場へ行く.
3	晴	背中のリューマチ(ママ)で休む.■■■醫の注射を受く.
4	雨後曇	就寝
5	晴	客来る.(おせち)起きてぶらぶら
6	晴	仕事始めにぼつぼつやる
7	晴	桃乃柿の大剪定 其他
8	晴	東京の市が谷(ママ)の■■■病院にて■の手術を受く.
9	曇	就寝(たいした痛みもなく.腹の張る程度)
10	大体晴	痛み出した
11		同上
12		クレゾールにかぶれて痛い
13		同上 体内ガスの出引きはげしく.又痛む
14		同上
15		クレゾール仕様を止める
16	曇	幾分痛みは速ざかり始めた様だ
17	晴	■■■■の都度痛む
18	晴	初めて日光浴に出る.入浴もした.
19	晴	日光浴 入浴
20	□	全身発振かゆい
21		全身の発振に■■■醫を呼ぶ
22		連
23		日
24		注
25		射
26		
27		1時(ママ)よくなる
28		
29		
30	曇	再び足がカノウ ■■■醫にかかる.
31	晴	同上.

表2 1月特記事項 (19 ページ)

34年度 甘藷 (2反) 苗数8436本.

月日	育苗	植付及	準備	管理	消毒	収穫出荷
4	10.11.10.4 6.14.8.2.2					
5		6.2.4.	6.6			
6		3.10.2. 3.4.5.3. 1.2.1.1.	9.5.8	8		
7						
8				3.33、24. 10.27.		
10						1.2.1.12.3.1.4.9.5.14.10.16.
11						3.3.4.10 2.9.3.28.5.2.20.
12						6.4.1.4.3.3.3.
1						3.3.2.3.3.4.3.
2						3.3.3.3.1.2.3.3
3						3.6.3.4.5.7.3.
4						4.3.4
5						3.

表3 2月 (20・21 ページ)

日付	天気	作業記録	備考
1	晴	大分身体が自由になつて来た布圍を干す。	
2	曇	寒いので就寝。注射を受く。	
3	曇	気温が高いで起きてぶらつく。注射を受く。	「注射を受く」に[■]■
4	曇	準備をして石ねり様のみで餅突き(ママ)をやる。夜ねむれた。	
5	薄曇	ぶら々したり入浴もした	
6	曇	大作まで頭刈りに行く。醫者の注射を受ける	
7	雨後曇	休。ぶらつき。手残(手紙力)等書く	
8	晴	初めて野良着に返へた(ママ)、手紙を少しなつた。他。	
9	曇後雨	やっど■(■)のちりに九段へ行つた。帰って再びかぶれ再発	
10	曇晴	かぶれの為休寝。■醫院へ事由を訊ねに行かせる。かゆくて寝れぬ	
11	晴	かゆみこらえて床にあり手残(手紙力)等書く。三度目■醫院注射を受く。	
12	晴	口内がなばれるが暖いので■へ行き注射を受く。帰路片平へよる。	
13	晴	宿河(宿河原力)のお母さんが来て話したり向原までおかつたりした	
14	曇一時雨	柿小■醫院まで行く。田の工事に片平で1人出てもらふ。白菜口	欄外に「1」
15	曇	白菜出し少し手傳ひ。片平で1人田の工事にでもらふ。	欄外に「1」
16	雨後曇	白菜出し。5製繩。他甘藷拵え等3	
17	曇	田の工事に、■、■、■、■氏にでもらふ。白菜収穫。■さん 手傳口	16日、17日の欄外に「+」マーク、「3」
18	小雨後曇	製繩こも網み、等人参、甘藷等(○に中)市場へ。	
19	小雨	製繩。床こも網み。	
20	晴	甘藷出し、白菜出荷、人参掘り、田の工事(■)に出る。	欄外に「1」
21	小雨	対話にてほとんど1日。人参出荷。	
22	晴	茄子用床造り、桃の剪定等、田の工事、(■、■)	欄外に「2」
23	晴	茄子温床踏み、白菜出荷2。田の工事(■、■)	欄外に「2」
24	雪	耕起機の使用料集金。	
25	晴	消防役員にて伊豆伊東へ1泊(ママ)旅行。(みどり宛にて)田の工事(■)	欄外に「1」
26	一時雪	雨の為3時半頃出発7時過ぎ帰郷。	
27	晴	床上げ配り	
28	晴	茄子蒔く、田の工事(■)、風邪の為就寝	欄外に「1」

表4 2月特記事項 (21 ページ)

特記事項 34年度 西瓜 (1反) ボカシ〇 施肥量 (化成10℔配合10℔) (配合18℔)							
月日	育苗	植付及	施肥	管理	消毒	収穫出荷	片付
4	14.5.3.						
5	1.1	3.3.2.12.16.4.		1.2.1.			
6			くろみ2.8.6.1.8.5.1.	1.1.9.3.			
8						1.12.16.10.10.	
11							3.12.
計	24	40.	31	18	0	49	
162時間20.3人		1人約550円					
4	4.2.						
5		8.					
8				2.		4.2.	

表5 3月(22・23ページ)

日付	天気	作業記録	備考
1	雨	風邪の為就床.人参掘り.	
2	晴	耕耘機の集金.人参、白菜、甘藷。(■■■)	欄外に「1」
3	晴	耕耘機の總會(開散(ママ)を決議す)	
4	晴	桃の剪定. 田の工事。(■■■、■■■)	欄外に「2」
5	晴	桃の剪定. 田の工事。(■■■、■■■)人参、白菜、葱出す	欄外に「2」
6	晴	桃の剪定、□柿の木を起す. 田の工事(■■■、■■■)	欄外に「2」
7	小雨	白菜出荷.製縄及こも網み、蓮草まるき等	
8	小雨	製縄.こも網み他、夜西瓜役員会(■■■(■)宅にて)	
9	晴	柿、ぶどう等剪定、高石精米所へ行く、田の工事。(■■■、■■■)	欄外に「2」
10	雨	製縄、こも網み、耕耘機会計整理、白菜出荷、	
11	晴	田の工事(■■■0.7、■■■0.5)我も出初める。	欄外に「2.2」
12	晴	田の工事(■■■1、■■■0.5)桃施肥	欄外に「2.5」
13	晴後曇	田の工事(■■■1、■■■0.5)	欄外に「2.5」
14	晴	田の工事(■■■、■■■)柿施肥。(但しごみのみ)	欄外に「3」「3人」
15	晴	田の工事(■■■、■■■)梨の竹片付け、0.5	欄外に「3」
16	晴	田の工事(■■■、■■■)メロン乃西瓜用土造り他.	欄外に「3」
17	雨	耕耘機勘定整理、製縄ともあみ他.メロン用薄口鉢造り	
18	晴	田の工事(■■■)梨畠の草かき、8.田の共同土砂工事終了	欄外に「2」
19	晴	梨の剪定.8.除草8	
20	晴	梨の施肥16.	
21	晴	梨の施肥.	
22	小雨	メロン用畠の陸稲柄揚げ他	
23	晴	薪切り及くい取り等	
24	曇後雨	田の工事仕上げ作業。(■■■)	
25	曇	田の工事仕上げ作業(■■■さんの仕事)	
26	雨	メロン6及茄子床造り8	
27	晴	メロン2及茄子西瓜床造り、馬鈴薯植え(テラーで耕し)	
28	曇	田のくち直し他.メロン床踏み8、畠ならし等	
29	曇	メロンの鉢入れ.22.	
30	曇風強	■■■■さん死の口却。(矢ノ口(ママ)、長沢等)、夜おつ夜	
31	曇	メロン播種10.使ひ及人参種配付(高石)夜、 おつや(■■■さん宅)薪切り笹とり等	欄外上部に「■■■さん12.7人 ■■■17.5人 自分9人 ■■■3人」

表6 3月特記事項 (23 ページ)

特記事項 34年度 メロン (1反8セ) 施肥 (化成16㍶) 配合55㍶鶏糞55㍶ (□安10㍶局□2㍶) .								
月日	育苗	植付 □切りまで	施肥及 敷糞	管理 摘芯	消毒	収穫出荷	片付	
3/17	1、6.2.8			元肥 ポカシ (下肥3㍶.過石6㍶焼糠○)				
4	22、10.2 10、2.1.	6.8.8.12. 16.10.15.5.						
5	2、	16.20.3	2	3.2.4.	2			
6			12.16.4. 11.14.	18.20.11. 20.12.2.5. 8				
7					5	2.2.8.12.		
8	労働時間	793時間				23.25.33.35. 28.30.32.8.16. 30.22.3.24.	5.18. 8. (9月) 4.	
		99人						□当 準益 452% 30.5%
計	66	119	59	174	7	333	35	
	売上総計110330円.準益81.363円.総人工 (ママ) 99人 1人当り82.2円							

表7 4月(24・25ページ)

日付	天気	作業記録	備考
1	曇	メロン鉢入れ及追加床造7、茄子床踏み、10.	
2	晴	メロン播種及追加床播種まで、14、床障子張返へ3.	
3	曇	炭出し、(83束-23俵)(6番釜)残薪等片付け	
4	晴	茄子移植5、梨接木2(■さんによる)甘藷床造り8.	
5	晴	甘藷床造り16、夜細山倶楽部各団体役員会	
6	小雨	甘藷塚踏み(□□5坪)10、雑役	
7	晴	向いの屋根返へ手傳い、甘藷床くず掃き2	欄外に「暑い」
8	□	甘藷床踏み(五坪)6、ピーマ及西瓜の床踏み、甘藷出荷2.	
9	曇	甘藷種出し6及床込み(2坪)4	
10	薄曇	甘藷種床込み(8坪)14、西瓜播き(80粒)ピーマ及び茄子一部移植	
11	曇	茄子元床切返し移植6、宿河原へ東炭等持参	
12	薄曇	馬鈴薯施肥、牛蒡入参れん草等片付け、甘藷(○)へ出す2.	
13	小雨	メロン用バラピン□(紙力)張り(700枚)8. 梨の袋に油を○る(塗るか)2.(900枚)	
14	小雨後晴	製縄、桃箱打ち、竹を掘ったり雑役.	欄外に「降霜」
15	晴	各種苗床灌水、甘藷床ビニール掛直し2、梨冊直し12.	
16	薄曇	梨の冊(棚カ)直し、12.	
17	晴	梨の冊(棚カ)付け(主枝のみ終る)16、メロン間引き他2. (空鉢に胡瓜、夕顔蒔く)	
18	小雨時々	メロン用バラピン□(紙力)張り400枚4、桃箱造り柿接木他.	
19	晴	梨の冊(棚カ)付け(亜主枝)14、菊掘り、甘藷荷拵へ、2 (○)へ出す当番	欄外に「降霜」
20	晴	梨の冊(棚カ)付け(亜主枝終了)12、夜■宅にて後援会青年部結成總會あり、 麦冊3 他笹運9等	欄外に「降霜」
21	晴	疎駄及笹の積込み、薪わり積込等、甘藷床水かけ2、甘藷(○)へ出す2、 灌水{(○)メ)1,(○)ナ)1,(○)□)	欄外に「強風」
22	晴	暗渠用松葉取り6、薪切り運搬片付け等	欄外に「△にタ」
23	晴	暗渠用竹拵へ16.	欄外に「△にタ」
24	薄曇	暗渠床込み16.	欄外に「△にタ」
25	晴	暗渠堆戻し13、田の初をつける1、夜は金程の氷祭り(当番)	欄外に「△にタ」
26	晴	畑を耕し牛蒡(原元種)の播種、甘藷出す(○)へ出す2	
27	曇一時雨	牛蒡(原種)蒔く、メロン植付け準備8、耕ふ.	
28	晴	メロン畠耕し株口をあたる10、他	
29	晴	□立て、苗代準備4、田の工事8、温床苗消毒	欄外に「△にタ」
30	晴	メロン植床築き8、茄子植える所へ堆肥をやる3	

表8 4月特記事項 (25 ページ)

33年 茄子						
月	育苗	植付	施肥	管理	消毒	収穫出荷
2	3.6.3.2.					
3	3.4.1.					
4	10.5.6.1.	3			1 } 苗	
5	2.2.	6.2.1.3.			1.1.1. } 苗	
6			1.	4.4.	3	25ヶ出荷 (12日) 2.1.1.1. 1.1.1.
7				1.3.	2	3.2.2.2.2.2.3.3.1. 3.3.3.3.
8						2.2.3.4.3.2.2.2.2.3. 3.3.3.1.4.5.5.
9				2.2.2.		3.3.3.4.5.4.3.3.3.3. ↪3.2.1.1
10						1、 16 (片付け)
	48	15	1	18	9	137. 16.
						244時間—30.5%

表9 白色の紙 (24・25 ページ)

伊藤酉造						
□□人員	出役人員	不員人員	小計	□こ		
48人8	28人8	20人		竹2□	300	} 3,905 1,385
	11,520	9,000	2,520	杭11本	385	
				葱	100	
				リヤカー半日	100	
				道板、リヤカー1日	300	
				道板砂場1枚	200	
				差引□□3,905		

表 10 5月 (26・27 ページ)

日付	天気	作業記録
1	晴	茄子定植畝に下肥、石室、等施す、苗代耕し等4、 田耕し(耕耘機)4.
2	雨後晴	苗代のくろ付け等10、田の工事仕上げ2. メロン畑石室施肥2、いんげん蒔く.
3	曇	メロン定植、(竹切りを含む)16.
4	雨後晴	苗代造り(代かきより)16.
5	晴	初種振り8、床の苗消毒、1.梨消毒(メタ)1、茄子の手造り2.
6	晴	雑役、茄子の手を造る1、 溝ノ口(ママ)へ■■■さんの薪炭運ぶ(2回)さくら炭(1俵450円)
7	朝雨晴	茄子の手造り2、甘藷床灌水2、メロン定植11.
8	薄曇	メロン定植12.茄子定植準備3.
9	晴	茄子定植、14.
10	晴	茄子苗賣却.西瓜定植他、メロン植床築き.3.
11	曇後雨	メロン定植準備8.及補植1.床用資材片付け等
12	雨	メロン箱造り10、甘藷荷捨へ出荷、4.
13	晴	メロン定植.16.
14	晴	メロン定植8.胡瓜(地這)ピーマン等定植.
15	曇後雨	夕顔定植、隠元追肥、人参跡耕口(掘取を含む)、 牛蒡の葉を切る.ささげ蒔く.
16	時々小雨	牛蒡(母木用)播種.メロン補植3.輪肥3.馬鈴間引き.
17	薄一時雨	すゝ掃き、里芋植え.
18	晴	陸稲蒔く3、牛蒡間引き、梨2、茄子1. 消毒耕耘機修理(高石)茶摘み(しんやで2人手傳0)
19	晴	馬鈴薯畦立て.メロンバラピン切り1. 梨摘果6、茶摘(しんやで1人手傳9)
20	雨	メロン箱造り及蓋造り等
21	晴	梨の袋掛け17.
22	曇一時雨	梨の袋掛け5、草けずり10、メロン袋切り、2.
23	曇後雨	桃の袋掛け、甘藷床築き4、及び植付け1.メロン紙切り2.摘芯1.
24	晴	桃の袋掛け乃摘果、苗切り 唐黍等まく、夜口口を買いに登戸へ.
25	晴	桃の袋掛け.
26	晴	桃の袋掛け、メロン摘芯2.落花生蒔く.
27	晴	甘藷苗切り.及植付け10.床築き8.
28	晴	{ 梨畑除草8.メロン4.茄子1.西瓜胡瓜等消毒、陸稲準備7. 甘藷床築4.運轉者講習会(登戸公民館)■■■さん手傳い.
29	晴	陸稲播種21、牛蒡掘り.■■■さん手傳い.
30	晴	牛蒡を(〇に中)市場へ、キャベツ取る、甘藷床築き3、メロン追肥小ぐるみ4.
31	晴	メロン小ぐるみ2、摘芽土寄せ敷薬等16.
備考	欄外	関39号} 甘藷苗 □金時 800. 1760. 220. 2150. 300. : 5230本 300本 紅金時 440. 350. 150. 200. 200. : 1340 関文 450. 900. 850. 550. : 2750 9320本

表 11 5月特記事項 (27 ページ)

メロン (1.8反) 599+520株 (反当44人)							
月日	育苗	植付け	施肥	管理	消毒	収穫出荷	片付
3	7.10.4.3.7. 16.				1.} 苗		
4	7.14.2.4	8.8.10.8.			1.4.	10. (箱)	
5	1.1.	2.16.11.12.14. 3.9.16.8.3.	3.4.2.	1.2.3.2.16.			
6			1.1.3.2.16. 2	16.7.2.7.8.12. 3.6.6.6.16.18.6.	6		
7				8.2.16.8.	4.3.	2.13.3.20. 8.6.18.8.10.	
8						4.25.10.6. 20.10.16.25. 2.20.7.2 2.	10.5. 10.14. 16.8.
		売上 81170円 528箱分 1箱153円	肥料 9000円 資材 5740円 輸送費1853円 16593円				
時間	76	128	34	65	19	247時間	63
632時間 (79人) 市場手数料 (約) 8000円 24600円掛り、残56600円						1人約七百円強	

表 12 6月 (28・29 ページ)

日付	天気	作業記録	備考
1	晴	メロン摘芽及土寄せ数蒞16.夜■■■を新宿まで追る(送るカ)。	
2	薄曇	茄子追肥小ぐるみ5.田の草及追肥散らし等、12.草刈り20.	
3	晴	田の耕耘準備 夕方1部耕耘16、くろ刈り8.	
4	曇一時雨	田の耕耘18.	
5	晴	田の耕耘(8)及草散らし暗渠のセンをする等18.	セン部分上部に「○～○」
6	晴	甘藷苗切り及び灌水13、メロン追肥小ぐるみ8(■■■の上の山)。	
7	曇	メロン追肥及蔓配り3.水こう直し1.甘藷植え5.	
8	小雨	胡麻を蒔く、牛蒡間引き、蚕豆を(まるに中)へ出荷、 柿の木の下の草刈り等	
9	小雨後曇	西瓜摘芽、牛蒡間引き、メロン摘芽乃土寄せ 7.夜小学期成会役員会 晝休みに寄る暗渠組会長	
10	薄曇	メロン摘芽乃土寄せ8、甘藷苗切り及植付け2.胡瓜土寄せ.	
11	曇後雨	メロン敷敷12.西瓜小ぐるみ敷蒞	
12	曇後晴	□□□出荷 茄子摘芽及除草4、蚕豆出荷、甘藷苗切り及植付け他8.	
13	晴	甘藷苗切り植付け8.植床築き10.	
14	晴	甘藷床築き3.苗切り及植付け6.麦刈り1.牛蒡跡整地蚕豆片付け等	
15	薄曇	■■■■■醫院へ行く □上(同上カ)、陸稲蒔き4. 小豆蒔き.牛蒡.ささげ等除草、麦刈り5.	
16	曇	大豆蒔き、付属ソク家.片付け.牛蒡追肥、麦刈り13. メロン施肥2.摘芯3玉葱収穫	
17	曇	大豆、里芋、等施肥、大麦刈り及麦揚げ13.メロン摘芯.6 茄子もぎ(○に中)	
18	小雨	メロン大ぐるみ16、甘藷苗(賣)切り.田の水こう直し2	
19	晴	西瓜、ゴマ、牛蒡、柿の消毒.梨3.茄子3.メロン6.消毒 麦刈り5麦揚げ3	
20	薄曇	麦抜き(大麦)24.	
21	晴	麦干返し8、小麦刈り15.メロン摘芯及麦蒞運ぶ6.	
22	晴	メロン摘芯6、麦干返し8.小麦刈り及揚げる16	
23	晴	麦刈上げ及麦揚げ20.西瓜大ぐるみ、茄子出荷.	
24	晴	メロン敷蒞16、追肥2.甘藷さく切り4.	
25	晴	小麦抜き28.夜1時小雨あり	「夜1時～」は右端に記載、 スペース的に24日の記述カ
26	晴	メロン摘芯18.小麦干返し8、茄子□、出1、	
27	晴	田のくろ寄せ及くろ塗り18.夜果樹役員会	
28	晴	田のくろ寄せ及くる付け18.夜精米所へ行く	
29	晴	田のしろかき、(機械による18.苗取9.)	
30	晴	田植え、一部代かき、■■■、■■さん各1人手傳ひ、 苗取り【片平で0.5㎡手傳	

表 13 6月特記事項 (29 ページ)

メロン (1.8反) 599+520株 (□当44人)					
月日	準備	播種	施肥及管理	収穫	出荷
7	4日8、4.	10	1.2.		
8			6.12.5.3.1.		
9			8.12.7.3.2.3.14.		
10			2.2.4.2.		
12				24.24.	8.10.10.4.2.4.6. 8.7.3.
1				3.2.2.	5.3.3.
2				2	3.1.2.4.6.
3				2	3.2.
時間	12	10	89	59	94
					8/264 = 33人

表 14 黄色の紙（オモテ）（28・29 ページ）

11□50本（8.7坪）甘藷2反8セ																	
12月末	0.5	0.2	0.8	0.3	1.3	0.2	0.5	1.2	1.0	0.2	0.6			0.3			
89.9人	1.8	1.7	1.0	0.7	3.0	3.0	0.4	0.5	1.0	0.1	0.3			0.5			
8.9	2.0	1.4	0.5	0.7	3.0	2.0	0.5	0.3	0.5	0.2	1.0			0.2			
98.8人	0.2	1.5	0.3	0.4	0.2	0.3	0.3	1.5	0.2	0.2	0.2			1.0			
	0.5	0.2	0.1	0.1	0.5	0.5	1.8	1.5	0.4	0.2	1.6	2.2	1.2	1.	<del>0.8</del>		
反当	0.4	0.1	0.5	0.3	0.2	0.8	2.5	2.3	0.4	0.1	0.5	0.6	1.5	0.2			
35.3人	0.4	0.5	0.4	0.1	0.3	1.0	2.5	2.5	0.5	1.0	0.6	0.2	0.2	0.1			
	0.6	0.1	0.5	0.4	1.2	1.0	2.8	3.0	2.0	0.5	1.5	0.2	0.4	0.1			
	0.8	0.4	0.1				2.0		0.3	0.5	0.6	0.4	0.2	0.4			
	0.6	0.1							0.5	0.7	0.4						
	0.6	0.2							0.2	0.1	2.0	8.7					
	0.6	0.1							0.2	1.5		21.8					
												30.7					
	15.5		7.2		18.5		25.9		21.8								
田 4反																	
103.6人	0.2	0.7	0.4	1.5	1.0	1.0	1.0	2.5	1.8	1.0		0.5	3.0	3.0	0.3	0.6	0.4
反当	1.0	0.9	0.3	2.0	1.0	1.0	2.5	2.0	1.8	1.2		2.4	3.3	0.3	0.6	0.8	1
25.9人	1.0	1.0	1.6		0.5	0.5	2.0	1.2	0.4	1.5		3.0	2.3	0.3	0.5	0.5	2
	0.5	0.5	2.0	2.0	1.0	0.8	2.5	0.8	0.7	0.2		1.0	2.2	1.3	0.5	0.3	0.5
	0.5		1.8		1.3	0.2	0.3	1.0	1.0	0.8		1.4	0.5	0.3	0.5	3.0	0.5
												1.6					0.5
																	1.5
	6.3		11.6		31.3		10.8		21.2			10.8					0.8
																	0.8
																	0.8
																	0.8
																	9.6

表 15 黄色の紙（ウラ）（28・29 ページ）

麦 7反6セ						
11.○	3.0 3.0			2.3 0.2		
	3.0 3.6			1.8 0.7	3.5 3.5	
	1.5 1.2	0.5 0.8	1.0 1.0 0.5	0.8 1.5	0.6 1.0	0.2
	1.0 3.0	1.5 0.4	1.0 1.0 1.0	0.2 0.6	0.5 1.0	0.2
	3.2 4.7		1.0	1.8 1.5	0.5 0.1	
	1.6			0.5 0.3	0.6 3.0	
				2.0	3.0 0.6	
	38.8	3、	6.5	16.2	17.9	0.4
	反当人工	10.9人	82.8人			
陸稲 2.8セ						
44.2人 反当15.8人			0.6 1.1 0.3			
			1.2 0.5 0.8	0.2	1.4 0.3	
			0.5 0.4 0.8	3.5	2.0 0.2	
		0.3	0.5 0.6 0.8	1.0	1.0 0.2	
	0.6 0.5	0.3	1.0 0.2	0.5	2.0 0.5	1.5
	0.8 2.0	3.0	0.2 0.6	1.0	0.3 0.5	
			1.8 1.7	1.0	2.3 0.5	
			0.3 0.2	0.8	0.3 0.2	
			0.3 0.3	0.8		
		3.9	3.6	14.7	8.8	11.7

表 16 7 月 (30・31 ページ)

日付	天気	作業記録	備考
1	曇一時雨	田植え7、苗取り12、くろ寄せ(■□)6.	欄外に「○に雨」
2	晴々小雨	田植え12、苗取14.しろかき(楕根及牛)施肥外10. 午後■、■向氏(牛)手傳ひ	
3	晴	田植え18.(終丁).茄子除草1、西瓜摘芽他.	
4	曇後時々雨	桃の袋切り、メロン摘芯摘芽8.	
5	曇	桃の収穫荷造り、(○にコ)へ出す 茄子2.桃消毒、メロン摘芯2.	
6	時々小雨	メロン摘芯摘芽.16	
7	曇一時雨	茄子2.隠元胡瓜、等(○に中)へ、桃(○にコ)へ出荷、ゴマ除草間引き等	
8	晴	メロン摘芯摘芽8、牛蒡間引他	
9	晴	茄子出荷2 桃(○にコ)へ出荷、牛蒡出荷、落花生ゴマ等除草	
10	晴	桃荷拵へ(○にコ)市場へ出す、牛蒡(選蒔) 追肥馬鈴掘り等	
11	晴	桃及茄子、荷拵へ出荷 馬鈴掘り等	
12	曇夕立	馬鈴寄掘、及人参播種準備	
13	曇	稲の共同防除(ホリドール)8、茄子出荷2、陸稲除草4.	
14	曇	稲の共同防除4、人参播種10.	
15	晴	消防口候、お庭草及(1)用にて柿生等へ行く、茄子出荷2	
16	晴	桃(○にコ)へ出荷、メロン初出荷2.陸稲除草4.	
17	晴	茄子出荷3.人参跡み2.胡瓜播種、他	
18	晴	ゴマ及落花生、小豆、等追肥、陸稲除草6.	
19	曇一時小雨	茄子出荷3、胡瓜、桃、メロン13の荷拵へ大近市場へ持って□□	
20	時々小雨	陸稲除草及さく切り16.追肥4.梨の中の草刈り、8	
21	小雨	茄子3及胡瓜出荷.メロン出荷準備3、箱分け及腰のばし	
22	時々雨	メロン収穫荷拵へ20.(-に徳)、(-にみ)、の荷と共に大近及(○に田)市場へ、 陸稲さく切り8.	
23	嵐	メロン荷拵へ8.茄子3.胡瓜等大近市場へ持って行く.茄子しばり3、	
24	曇	メロン収穫出荷20.大近市場へ行く	
25	時々小雨	動噴と薬品買いに農協へ、メロン共同防除 4.葱植え	
26	時々雨	動噴に依るメロン共同防除3及出荷箱の準備.6.	
27	曇	メロン収穫出荷、(大近)18、惣定食.	
28	時々小雨	柿の共同防除、田の除草 7.草刈り8.	
29	晴	メロン収穫出荷8.茄子5、田の草5.草刈り5.西瓜収穫一犬近当番上乘	
30	晴	田の草取り18、大豆里芋等除草.	
31	晴	茄子3.メロン10.収穫出荷(大近) 田の除草2草刈り.	

表 17 7月特記事項 (31 ページ)

33年白菜 1反3セ					
月	蒔付け	管理	消毒	収穫出荷	
8	5.18.8.5.				
9		12.20.5. 16.14.	3		
10		5.16.2.8.8.	4	2.10.10.	
1			16		
2				8.2.4.5.5.4.4.5.6. 4.2.4.	
3				3.2.5.6.3.	
34年度→ (1反3セ)					
8	3.28.		1.		蒔付一・一反化成二六ㄹ.追肥鶏糞六八ㄹ 化成五三ㄹ
9		8.14.12.13.4. 4.8.8.14.6.	3.		
10		6.10.8.4.6.1.	5.	4.3.5.4.1.	
12				8.10.12.16.16.10.4.16.16.13.	
1				3.2.7.18.7.10.18.4.12.12.3.4.	
2				3.7.3.6.6.7.7.8.8.8.	
3				8.	
	31.	126.	9.	(17) 301	
467人=58.4人 反当45人					

表 18 8月 (32・33 ページ)

日付	天気	作業記録	備考
1	晴	田の除草7.メロン出荷準備4.西瓜胡瓜等茄子出荷の準備2.	
2	晴	メロン収穫出25.■さんの車で(○に田)市場へ行く.	
3	晴	メロン荷拵へ大近へ出す10.茄子出荷2.小麦衣装調製4	
4	晴	麦調製及衣装等14.茄子出荷準備2.メロン出荷準備6	
5	晴後雨	メロン収穫出荷(○に岩)及(○に田)市場へ持って行く20.	
6	曇	鶏糞取り.箱分け.精米所等雑役茄子荷拵へ4.メロン出荷準備10.	
7	曇	メロンの出荷16.	
8	晴	茄子荷拵へ3.胡瓜里芋等追肥.人参除草6	
9	晴	メロン収穫出荷(○に田)へ持って行く25.	
10	晴	人参除草12.甘藷除草3.	
11	晴	田の除草24.(■さん手傳ひ1人)	
12	晴	田の除草10.茄子荷拵へ2.麦検査俵造り3俵2.	
13	晴	メロン収穫出荷(○に田)へ行く.20.	
14	曇時々小雨	雑役 茄子荷拵へ2.	
15	曇	眞福寺(ママ)及高石等へ行く	
16	晴	茄子荷拵へ出荷2.宿河原及溝の口へ行く(車検)	
17	晴	箱屋来る.メロン出荷7.人参追肥5.	
18	晴	箱屋と共に麻生及眞福寺へ箱を持ち込む.人参冊切り3.甘藷除草2.	
19	晴	片付け.梨の袋はぎ6.及消毒3.茄子消毒3.他.	
20	晴	茄子出荷3.水稻追肥10.胡瓜敷薬手口等	
21	曇一時雨	胡瓜摘芯.西瓜収穫等.メロン跡片付(除草)10.収穫2.	
22	晴	メロン跡除草5.茄子出荷3.メロン出荷2.(○に岩)へ行く	
23	曇後雨	メロン跡片付け10.雑役	
24	雨後曇	溝の口へ車を取りに行く.茄子荷拵へ3.玉葱馬鈴等荷拵へ	
25	雨	メロン跡廻り刈り及除草14.茄子出荷1.	
26	雨後晴	メロン跡除草及片付け.16.	欄外左側「強風」
27	晴	メロン跡片付け.8白菜蒔き準備5.茄子出し4(■君の所へ	
28	晴	白菜播種.18	
29	晴	茄子出し5.梨ひろひ及出荷1.白菜蒔準備8.	
30	時々小雨	白菜播種5.梨収穫出荷(○に田)12.人参問引き1.	
31	曇夜小雨	茄子出し5.玉葱.西瓜.馬鈴薯.ピーマ(ピーマンカ).胡瓜等出荷.	

表 19 8月欄外 (33 ページ)

35年梨				
播種冊□□ (釣りカ)	3月	8.8.11.18.6.8.		
	4月	16.16.15.8.45.18.7.		
剪定	3月	12.6.	除草	8.6.
柵付け	4月	10.18.10.18.		
施肥	3月	12.16.		
消毒	3月	5.		

表 20 8月特記事項 (33 ページ)

34年度 梨										
								{	44 102	
10/23	コンクリート柱準備.		44 (←運搬) .24.18.16.4.15.8.12.5.						146 118	
	柵ツリ直し		1.12.15.11.16.48.3.6.6.						264	33人
月日	剪定冊付	施肥	袋掛	消毒	管理.	収穫出荷.				
3	5.8.1.	14.15.	(4300枚)		8.8.					
4	4.16.18. 10.8.2.			1						
5.			4.4.3.5. 3.4.5.10.	4	5.					
6				2.	3.					
7					2.					
8					1.15.	1.10.8.6.8.6.8.2.				
9.						3.2.2.				
10.					12.					
	72	29	76	7	45	56	285時間 356.25人			

表 21 9 月 (34・35 ページ)

日付	天気	作業記録	備考
1	小雨	玉葱拵へ、風祭水無炒駄	
2	曇	茄子出し3、玉葱、馬鈴等出荷、人参間引き8.	
3	晴	■■君出迎へに上野まで行く、梨の出荷6、■■を送り 乍ら(○に田)市場へ、	
4	曇	茄子もぎ3、人参間引き12.	
5	晴	茄子出荷3、人参間引き及追肥7、甘藷掘って出す3、箱分け、	
6	晴	箱屋が来る、人参さく切り、3、胡麻切り、	
7	晴	茄子もぎ4、胡瓜、ピーマ等出荷、梨出荷4、 茄子除草2、ゴマ葉もぎ12、白菜間引き	欄外左側「一■■手傅ひ」
8	晴	梨の下草刈り16、茄子除草、2、甘藷除草5.	
9	晴	茄子出荷5、胡瓜出荷、梨の出荷2、夜細山にて■■■の……	
10	晴	白菜間引2、消毒3、人参消毒2夜…同上、	
11	晴	茄子出荷4、胡瓜天近へ出荷、人参間引き3、他	
12	曇り小雨	小豆片付け畑うなひ、	
13	晴	茄子出す3、梨出荷2、畝耕す、■■■を東京箱屋へ送る	欄外左側、7日の備考欄記載のところへ 「一」で引[っ]張ってある
14	晴	人参間引き14、夜出荷場へよる	
15	晴	茄子出荷3、外雑役留守番等	
16	曇時々雨	埼玉県児玉方面バス見学、胡瓜、白菜、葱等	
17	強雨	茄子もぎ3、雑役 夜勝青口役員会	
18	暴風雨	道路不振(普請力)(臨時)、茄子出荷、3、雑役、	欄外左側「■■■帰る台風21号、」
19	晴	大根蒔準備13、他、	
20	晴	茄子出荷2、大根播種、13.	
21	曇	大根播種2、玉葱播種、道路(■■■)不振(普請力)、夜高石の祭り	
22	曇後雨	茄子出し3、葱、小かぶ、れん草等の準備、休、箱配り	
23	小雨	道路不振(普請力)(■■■)れん草、 きやべつ、葱、小蕪、からし菜蒔く、白菜間引5.	
24	小雨	茄子もぎ2、甘藷穴刈り5、夜■■■講演会、	
25	小雨	茄子出荷1、白菜間引及除草16.	
26	暴風雨	堆肥切返し、	欄外左側「□□」
27	晴	台風被害の道路不振(普請力)1人	
28	晴	道路不振(普請力)、2人、	
29	晴	道路不振(普請力)、(但し、被害調査に廻る)茄子出し1、 白菜間引き及手入14.	
30	晴ったり曇ったり	農道不振(普請力)、田の水はけ稲直し、土砂の下の稲刈り等16.	
	欄外	26日台風の為田に土砂南北よりとび出し6畝位堆める	

表 22 9月特記事項 (35 ページ)

水稻 34年度 (配合105㍻) 4反尿素 3 ㍻									
	外管理	育苗	施肥	準備	植付.	管理.	収穫.	調整,出荷	他
5.	3.4.8.	18.14. 8.7.	5.	6.			モチ6.5 3.5俵 若葉1.6反 10俵 17号1.9反 11俵 24.5俵		
6.	8.5.		9.	7.20.					
7.		28.26.7.		2 16.4.	24.24.9.	2.20.6 (共防8.8.)			
8.						13.2.1.			
10.	16.3.3.7.7.					2		2.1.	
11.							8.7. 8.15.18.24.	2.	
12.							30.35.2.15.6.31. 20.	2.6.3.6. 4.5.5.5.	2 4.14.16
1.								2.3.2.2.3.	8.2.4.2. 4.4.4.2.
	84	108	16	53	57	62	219	53	70.
		652時=81.5人		他70■9人		反当22.5人			

表 23 10月 (36・37 ページ)

日付	天気	作業記録	備考
1	曇	稲刈り及掛干し18、深沢の箱屋へ行く。	
2	曇	大根土寄せ.甘藷掘り2.其の他.宿河原へ行く	
3	晴	大根土寄せ.白菜追肥5.甘藷出荷3 茄子出し1	
4	晴	白菜さく切り16. 大根さく切り、人参追肥(ケイカル) 2	
5	雨	堆肥切返し、箱片付け等、夕方より窪口へ行く	
6	雨	休.後直し等	
7	雨後曇	甘藷入用半切俵及さん俵造り、12.草刈り等	
8	晴	甘藷掘り7.出荷4。(〇に中) 当、宿河原へ砂利へもらひに行く(バンクする)	
9	晴	宿河原より梨の支柱造り用砂利運び、3回	欄外左側「テラー求む11万」
10	晴	宿河原より砂利運び、2回(但し1回分はふるってくる) 白菜間引2 柿もぎ荷拵へ	
11	晴	宿河原へ柿の木を持って行く、(セメン買ふ) 通不振(普請カ) (口より■を出す) 白菜間引き、8、夜まるき市場へ。	
12	小雨後晴	柿もぎ荷拵へ、(〇に大) 出荷の為.大西まで持つて行く	欄外左側「□□」
13	晴	白菜間引き8、人参さく切り2、大根間引き、間引菜まるき10等	
14	晴	陸稲刈り15.人参土寄せ.4.白菜消毒4.登戸へ行く	
15	晴	大根消毒、人参消毒3、甘藷掘り、8.甘藷荷拵へ3、テラー 試運転	
16	朝雨曇	甘藷荷拵へ(大近)、6.雑役■をつれて下丸子へ行く。	欄外左側に「■■■」
17	晴	陸稲返し6及.揚げる.7.茄子片付け.16、	
18	雨	雑役 甘藷.荷拵へ、5.	
19	晴	陸稲脱穀20、稲扱き8.	
20	曇	茄子跡テラーにてすく.落花生掘り等	
21	曇	殿山の畑整理(主に回り(ママ)) 10月27日花上より帰る。 自動車運転者講習会細玉舎にて。	
22	小雨	柿もぎ(富有(富有柿カ)を含む) 荷拵へ大近へ出荷。 大作までぬき(ママ)を買ひに行き夜けずる。	
23	曇	梨間用コンクリート柱準備(■■■■さん手傭ひ、約1人) 24.	
24	小雨後雨	コンクリ柱用鉄筋造り(組む) 18.	
25	曇後雨	梨柱コンクリ打ち準備16.	欄外左側に「-□□帰る」
26	雨	梨柱鉄筋直し4.大作で写真(写真カ)をとる	
27	晴曇	梨のコンクリ柱造り 15.	
28	曇後雨	同上8↑(梨のコンクリ柱造りカ).無炭化成分け、他.	
29	晴	同上16↑(梨のコンクリ柱造りカ) 粉干返り(陸稲) 3 ←(水稲) 2	
30	晴	同上↑(梨のコンクリ柱造りカ) 12.(コンクリ柱の敷石) セメン買ひ他で登戸へ行く.垂を掃き準備.陸稲揚げ1.及扱き2	
31	晴	コンクリ敷石造り及片付け、大豆播種、大根間引き等、水稲手ひがり3.	

表 24 10月特記事項 (37 ページ)

34年度人参母本 (24+5□位) (反セ)					
月日	準備	播種	施肥及管理	収穫	出荷
6.	9.				
7.	8.2.88.	13.18.13.			
8.			13.16.3.2.1.4.		
9.			8.7.14.14.3.4.1. 10.9.7.1.4.1.4.		
10.			2		
11.				13.28.32.	2.10.4.13.10.4.3.1.
12.					8.5.
1.				1.2.2.1.1.1.	2.3.2.1.1.5.2.2.
2.				3.5.1.1.2.2.	3.3.1.2.2.3.4.3.
5.				7.	11.
七セ、	一五〇ㄩ	くみあ (ママ)	化成二ㄩ.	□肥一八〇ㄩ	過石二ㄩ
	一六五ㄩ	化成 八ㄩ		□肥一一〇ㄩ	□□ 2 一一□.

表 25 11月 (38・39ページ)

日付	天気	作業記録
1	曇	大根追肥.及間引き(まるき(○)に中)へ) 蚕豆、えん豆播く、水稻手び刈り8.
2	一時小雨	れん草、ニンニク、からし菜等まく、柿もぎ大近へ出す.
3	小雨	まるき縄造り他片付け、殿山の畑、穴土こわし等.おし沼、片平等、■のお祝ひを.
4	晴	殿山の穴土掘り、陸稲刈り10.甘藷掘り3、荷拵へ2.
5	晴たり曇ったり	柿もぎ及出荷(大近) 甘藷掘り12、甘藷荷拵へ(夜)5.手び刈り8.
6	晴	甘藷荷造り出荷、2.精米所へ行く、南加瀬へ荷を持って行く、甘藷掘り6.
7	晴	甘藷掘り.8 陸稲揚げ8.甘藷荷拵へ3.
8	夜雨晴	陸稲抜き20.甘藷掘り3.
9	曇後雨	向ふ山の小麦蒔き18.夜甘藷拵へ3.
10	曇	向ふ山穴土掘り4.麦蒔き2.甘藷掘り6.貯蔵庫掘り2.
11	晴	甘藷掘り.16.甘藷荷拵へ、4.陸稲初干返し2.
12	曇晴	甘藷掘り(平み)14.甘藷荷拵へ6
13	曇	蒜甘掘り17.貯蔵1.
14	曇り	甘藷掘り8、牛蒡の葉を切り掘取準備.
15	朝の中小雨曇り	牛蒡掘り24.(■■.平尾の■■兩氏手傅ひ)
16	晴	牛蒡掘り26.(■■、■さん手傅ひ2人) 甘藷掘り6.
17	夜雨晴	牛蒡くず支末及出荷、甘藷と共.(4) 甘藷掘り1
18	晴後雨	甘藷掘り10.甘藷荷拵へ6.
19	晴	牛蒡(母木)出荷(101≠900匁)、甘藷掘り7.牛蒡出荷等
20	曇	甘藷掘り4.平み穴土掘り、外雑ならし等
21	曇	麦蒔き準備8.穴土掘り他コンクリくい立て等
22	曇	麦蒔き準備16、里芋掘り、稲刈り8.
23	晴	麦蒔き準備(テラーでならしたり、畦切り(→堆肥運搬)等)18.
24	曇	麦蒔き18.ガソリン買いに柿生へ行く.稲刈り、8.
25	曇	麦蒔き18.夜消防役員会
26	晴	牛蒡荷拵へ出荷及甘藷口荷拵へ出荷5.他雑
27	晴	麦蒔き8.(中畦の白菜の中)コンクリ片付け.殿山の片付け等.
28	晴	殿山畑をテラー(すき)で耕す. 牛蒡出荷、■■■■さん葬式
29	晴	殿山の麦蒔き準備10.消防のかまどの検査、他、稲刈り8
30	曇後雨	殿山の麦蒔き6.甘藷荷拵へ8、牛蒡も出荷

表 26 11月特記事項 (39 ページ)

34年度麦 (大麦) 3反2セ15俵 (小麦) 1反5セ8俵								
月日	圃場外管理	播種及準備	圃場管理	収穫	調整出荷	跡片付.	麦	
11.	4.8.16.	18.2.8.18.18. 18.8.10.6.						
4.			5.4.4.3.				70	
6.				5.18.28.8.8. 8.14.5.	14.18.28.	4		
7				8.14.5.	30.16.			354 44 25入
計	28.	106	16	94	106	4		
35年度								
11		16.16.2.7.5.12 17.13.3.4.9.8. 4.						
2.			5.5.8.					
3.			7.7.					
4.			8.4.					
5.			3.7.5.					
6.				2.3.6.1.15.6.10.	30.18.35.3.			
7.				15.1.6.5.16.	20.8.			

表 27 12月 (40・41ページ)

日付	天気	作業記録
1	晴	陸稲刈り18.水稲2、■■■さんの刈り等
2	晴	水稲刈り23。(■■■夫妻手傭ひ) .甘藷出荷2.貯蔵穴埋め2.陸稲俵ゆい2.
3	雨後晴	竹切り、水稲掛け干し.11.
4	晴	水稲掛干し及稲刈り20.
5	晴	稲抜き24.夜みつち会の会合.甘藷出荷3.
6	晴	稲刈り12、稲抜き7.稲干返し4.
7	晴	稲干返し4.人参掘り3人 (■■■さん手傭ひ) 甘藷出荷3、当番
8	曇後雨	人参掘り、3人 (■■■さん手傭ひ)
9	晴後曇	人参母木の手傭ひ。(高石) 稲干返し4
10	晴	人参母木の出荷、(高石) 稲干返し5.米衣装3.
11	晴	人参母木の出し (高石) 米の衣装5.掛干外し4.甘藷出荷3.
12	晴	人参母木出し (片付け) 米出荷3.人参くず整理.
13	晴	人参くず整理、□稲抜き11.
14	晴後曇	広一 (ママ) のお祝いの餅突き (ママ)、□稲抜き 8.
15	晴	広一 (ママ) のお祝い.宿河原.押沼 (ママ) 一片平、柿生、眞福寺、等配る、夜消防役員会
16	晴たり曇ったり	柿生精米所、眞福寺等へ行く、甘藷出荷、3.鶏糞を平尾へ、稲干返し5.
17	晴	稲抜き12.稲干返し8.藪片付け4.
18	曇後小雨	甘藷荷拵へ4.人参4.牛蒡、出荷外.
19	曇夜雨	藪の片付け。(掛干し) 8.竹の枝はらい.等
20	晴	牛蒡、人参.6.甘藷2 等出荷 藪片付け3.
21	晴	稲摺り2.夜消防の夜警.
22	晴	人参出荷8.稲摺り片付け等7.
23	曇後雨	機械類の片付け.藪取込み.4.甘藷荷造り2.夜養豚總會 (大西)
24	晴	すゝ掃き.
25	晴	梨のコンクリ柱手入れ片付け5.大根白菜取り等.
26	雨	人参荷拵へ7.雑役
27	晴	高津へ書返へ免 (言偏に拳) (許力) 證を取りに行き乍ら雑用、柿生へ精米所他へ.夜金程忘年会.
28	曇晴	玉葱除草間引き補植等夜、みつち会の会合.
29	晴	玉葱補植、天豆稲掛け、白菜縛り.青の当番等.
30	晴	餅突き (ママ)、向ひ原のさんや (波線) と竹の交換、白菜縛り、掛干し竹片付け3.等
31	晴	雑役、□ (后力) (梅さより) キベツ (キャベツカ) 苗植.藪片付け1.夜消防役員会

表 28 12月特記事項 (41 ページ)

牛蒡 (3セ弱) 施肥 (堆肥110℥、化成6℥) 追肥 (配合10℥鶏糞15℥)						
月日	準備	蒔	管理	消毒	収穫	出荷
5.	3.8.	12.				
6.			4.			
7.			1.2.5.2.	2.2.		
11					3.	2.2.2.2.
12					3.	4.5.4.
1.					3.3.6.	4.3.5.3.1.
2.					3.8	1.3.3.4.3.3.
	11.	12.	14.	4.	29.	54.
					124時間	15.5人

表 29 (42 ページ)

米 32年度産米人工 (ママ) 調 (4 反歩)								
月別	圃場外管理	育苗	準備	植付	圃場管理追肥	収穫	調整出荷	跡片付
4		14.8.2.1.						
5	7.1.6.2.	16.牛3.15.	5.16.					98
6	2.6.4.8.	4.12.14.	16.10.5.	2 0.	2.4.		8	744
	(被害10.)	8.6.	9.25.	12.3.				72
			1.2.3.	22.6.				24
7			6.		9.4.24.			24
8	6.2.8.8.				25.12.		反当24.5人	0
9.								
11.		8				19.14.16.		
						28.4.30.8.		
						12.8.		
12							24.10.4.5.	12.
							4.6.2.3.3.16.	20.
								9.4.
							2.8.6.2.4.	6.
計		68	100	126	63	80	139	117
								51
33年度								
4.		1.4.						
5		1 4.10.16.		4				
6	(20) 田の草刈り		12.16.18.					
	8.		18.1.2.18	18				
7			18.18.12.					
	8.5.1.	12.14.	6.10.	7.12.18.	(防) 8.4.7.5.			
8					16.2.			
	4.8.4.				7.24.10.10.			
9.						8.18.		
10						8 3.	8.2.	
11.						8.8.8.8.8.		
12.						23.11.20.12.	2.7.4.4.5.3.	
								4.8.3.
						5.11.8.12.	4.5.8.20.7.	4.31.
31年度	6.3人	11.6人	31.3人	10.8人	21.2人	12.8人	9.6人	
		4反歩 103.6人			反当25.9人			

表 30 (43 ページ)

数字ハ時間 陸稲 (1反5セ)							
月別	圃場外管理	播種及準備	施肥	圃場管理	収穫	調整出荷	跡片付
5.7.		8.8.	2	4.1.2.18.9.13.			
8.10.				6.2.8.16.8	3.4.4.7.3.	20.4.2.2	
11						2.1.8.8.1.	
		16	2	8.7	20	48	22人
33年度 (1反9セ)							
5.6.		3.7.21. 4.					217
7			4	18.4.4.6.16. 8.			27人
8.10.	2				15.13.6.	20.6.2.	
11.12.					10.8.	20.2. 18.2.3.	
計	2	35	4	56	47	73	
34年度 (1反5セ) (約5.6俵)							
5.6.		6.6.10.13.		1.1.5.			
7				8.10.8.8.24. 8.3.10.16.7.1.			
8				10			
9.10.	2			8.3.	16.2.5.10.	1.22.2.5.5.	2.2.
11						7.4.	5.4.10.
計	2	35		131	33	46	23
				270時-33.75人 反当22.5人			
31年		3.9人	3.6人	14.7人	8.8人	11.7人	1.5人
2反8セ 44.2人 反当15.8人							

表 31 (44 ページ)

32年度麦 (6反7セ) 大麦4反4セ340束 小麦2反3セ250束							
月別	圃場外管理	播種及準備	肥料配合	圃場管理	収穫	調整出荷	跡片付
11	1.6.	3.16.11					
		20.3.23					
		1.6.15.					
		3.28.16.					
		6.7.7.					
		10					
1				2.3.5.			
2				2.1.10.			
4				6.6.6.6.			
6					13.6.6.12.	17.10.20.	
7					18.12.		
					25.16.27.	5.4.2.4.3.7.	
8						25.22.5.1.	} 3.
		7	175	47	135	125	3
33年度 大麦4反5セ X束 8俵 小麦1反8セ287束 10俵							
12	1.		4.				
11	1.2.3.	12.14.22.	2.				
		12.25.4.3.					
		16.1.6.					
2				5.			
3				5.			
4				3.			
6					8.9.1.5.13.		
					13.5.3.15.16.	24.8.8.28.	
3					20.	8.	1
						4.14.2.	
31年		38.8人	3人	6.5人	16.2人	17.9人	0.4人
	7反6セ	82.8人	反当10.9人				

表 32 (45 ページ)

甘藷 (3反) (金時9700 2反5セ 関口2300本 6セ)							
月別	育苗	施肥及植付準備	植付苗留	圃場管理	収穫	出荷	貯蔵
4	4.8.8.6.3. 4.5.8.5.6.						
5	11.4.	6.6.6	4				
6		6.6.3.3.3. 8.7.16.2.	5.5.6.6. 4.2.				
7.				8.11.2.12.6			
10.				4.2	2.9.2.4.2.	24.3.11.1.8.	2.11.
					8.15.15.9.12. 1.3.16.	10.4.8.8.7. 3.	
11					15.12.8.14.16. 4.15.8.	1.5.3.5.2.4. 1.1.8.1.4.6.	3
12						6.14.2.3. 4.2.2.2.4.11.	
1						2.2.3.3. 1.2.6.8.3.	
2						3.2.2.1. 2.6.	
3						4.2.1.1.2.	
4						2.2.2.2.2.	
5						3.4.	
	72	72	32	45	90	221	7
33年 (2反5セ) □□5230本,紅金1340本 関六2750本,計9320本.							
3	2.						
4	8.16.10.2.						6.
12.	6.4.14.2.					→2.5.3.3.3.4.	
1.	2.2.					2.2. 3.2.	2.
2.5.		4.8.3.	1.10.4.			3.3.3.3.2.2.4.	
3.6.	3.	10.3.	10.5.2.8.8.6.	4		2.1.	
4.7.				20.		2.6.	
8.				3.2.			
9.					1.	2.	
10.				5. (外5) 1.	2. 7.8.	3.12. 4.3.6.5.	
					3.12.6.8.3.6. 16.14.17.8.6.1. 10.7.4.	2.5.2.3.3. 4.6.4.6.5.8. →~ (12月1月と矢印で 結ばれている)	
11.							2.1.
31年	15.5人	7.2人		18.5人	25.9人	30.7人	1.0人
	2反8セ 98.8人	反当35.3人					

表 33 (46 ページ)

西瓜 (1反9セ) (約490本)							
月別	育苗	植付及	施肥	管理	消毒	収穫出荷	個数
2	(ボカン8.1.)						
3	5.						
4	2.2.2.7.10.	1.3.6.					
5	11.2.1.	1.16.10.	④.4.8.	1.2.			
6		8.1.4.	5.1. 14.1.	10.14.10	1.1.2.2.		
7.				13.15.5			ナ9.
8			10.	2.		2.3.6.16.2.	11.
9.						16.3.3.	ナ110
						4.	30
							ナ110
							90
					片付	6.6.10.2.8.4.	ナ140
						3.	100
	42	50	47	72	6	55. 39.	46.4人弱
							計371
32年 白菜蒔付け (1反6セ) 約3200株							
8			4.9.7.3	8.	1.		
9			6.3.7.	4.11.12.	2.4		
				5.14.4.5. 2.4.5.10.			
					4.6.4.2.		
10.			4.4.	4.1.2.4.	7.		
11.						1.	
12				10.4.1.3.		2.3.8.17.7.2.4.	
1						15.14.2.3.12.14.12. 5.7.3.	
2						3.3.2.20.20.18.7.7.8.4.16.8	
3						.	
						16.7.16.4.7.8	
			47	113	30		305 62人

表 34 (47 ページ)

茄子 (一番移植より) (2.5セ) (約340本)							
月別	育苗	植付及	施肥	管理及	消毒	収穫出荷	ヶ数
3	3.8.2.3.1.1.						
4		4.	2.2.2.				
5					1.		
6		17.	7.	4.1.1.2.	2.2.2.1.	1.	50
7			5.1.	1.1.11.6.	2.2.	2.1.1.1.1.2.3. 3.3.4.3.3	
8						3.2.2.3.3.2. 2.1.2.2.3.3.	
9.					2	3.3.3.3.1. 6.2.6.6.5.4.	
						4.5.7.4.4.3. 3.3.2.	
10						2.2.1.1.1.2.	
11.				8. (片付)		1.	
		18	21	19	37	12	143
	計250時 = 31.25人			18182ヶ 1本約130ヶ	準益	売上	
					約21500円	27161円	
						手取約 23467円	
						箱代 約2000円	
33年度 梨 (8セ)							
	剪定及冊付け	施肥	消毒	管理	袋掛け (摘果)	収穫出荷	
2.	6.						
3.		7.8.17.8.	1.				
4.	(接木) 2.12.12.16.14.12.	7.		(袋の油) →	2.		
5.			1.	10.8.	6.17.5.		
6.			2. 3.				
7.				8.			
8.					6.	1.12.6.	
9.				16.		4.2.2.	
	74.	47	10		36	27	
						194時間 = 24.25人	

表 35 (48 ページ)

桃 (4セ)					
月別	育苗	施肥	管理	収穫出荷	
1	5				
2	1.7.7.2.2	3.6.6.5.3.10.		22箱 (手取約1900円)	
3		消毒2.			
5.			1.5.13.		
6.		消毒5.	1.		
7.			1.3.3.		
8.			2	4.2.9.	
金時胡瓜 (5セ)					
月別	蒔付及施肥	管理	消毒	収穫出荷	収穫量
8.	14.5.4.	5.5.	2.		
9	3.	5.1.16.1.	3.3.	1.1.1.1.2.2.1.	3480本
10.			3 2.2.	5.1.1.1.6.1.1.1.5.2	手取16000円
11		4. (片付け)		5.1.5.4.1.1. 1.	(箱代735円も引いてある)
					1本約4円60銭
34年度大根 (8セ) 鶏糞24㍻ 化成6㍻.15㍻追36㍻					
9.	16.3.8.10.4.	5.			
10.		9.12.7.8.2	1.		
12					11.8.2. 5.8.2.2.
1					4.5.3.4.2.12.12.8.7.5. 5.3.5.
2.					
3.					
	41.		44.		113.
					198時間
					24.75人

表 36 ピンク色の紙（オモテ）（48 ページ・裏表紙）

	7月分				
桃（手取）			メロン（賣上）		
7月8日	1783円		7月17日	400円	2箱
7〃6日	432—		7月19日	4740円	24
〃10日	2003—		〃22日	4840—	27
〃11日	1586—		〃22日	5110—	28
〃12日	3528—		〃23日	4220—	31
〃17日	2078—		〃24日	9330—	49
<del>メロン</del>	?		還〃27日	7760—	42
	11410—		√〃27日	1260—	8
	531—		√〃31日	2710—	20
	292—			40390—	241
	12,233—				231
					297
8月2日（○に田）					
8月3日（○に田）					
8月5日（○に田）					

表 37 ピンク色の紙（ウラ）（48 ページ・裏表紙）

8月2日（○に田）	7540円	45箱		153	
			528	81170	
8月3日（○に大）	1460円	21箱		<u>528</u>	
	7910円	46〃		2837	
8月5日（○に田、岩）	2420円	20〃		2640	
	5260円	30〃		1970	
8月7日（○に田、岩）	210円	3〃		1584	
	7580円	47〃		3860	
8月9日（○に田、岩）	560円	17〃			
8月13日（○に田）	6030円	48〃		79.人	
			8	632時間	
8月17日（○に田）箱屋	1360円	13〃		56	
8月22日（○に大）	470円	7〃		72	
計	81170円	528箱			
				運賃151箱仕口 3	
				453円 1400…	ガソリン代
				1853	
				81170 8117 1853 9970	…市場
				71200	
				資材代	1500円
				箱代	4240円

### Ⅲ 内容解説

本章では「しおり」に記述された記録から、昭和 33（1958）年の伊藤家の暮らしについて報告しつつ、既刊報告書と対照し若干の検討を加える。

#### ●生業

伊藤家では生業として平成 18（2006）～平成 19（2007）年段階では畑作と果樹栽培を行っている。一方で「しおり」では柿、白菜、甘藷、人参、茄子、桃、メロン、馬鈴薯、梨、牛蒡、いんげん、夕顔、胡瓜、ピーマン、西瓜、ささげ、小麦、玉葱、大豆、里芋、水稲、陸稲、落花生、ごま、大根、ニンニク、蚕豆、からし菜、ほうれん草、小蕪を栽培していたことが確認できる。

特筆すべき点としては、メロン、西瓜などが栽培されていることがあげられる。報告書によれば、伊藤家は昭和 30（1955）年頃から種無し西瓜やメロンの栽培をはじめたが、手間がかかるうえに収穫量が少なく、10 年ほど試行錯誤をした後にやめてしまった。その後はサツマ、小麦、陸稲などを中心に人参、白菜、大根などの野菜も生産したという [川崎市立日本民家園 2007：22, 24]。

つまり、昭和 33（1958）年当時はメロン、西瓜などが栽培されていた過渡期にあたるといえよう。また、聞き取り調査によれば昭和 30（1955）年～40（1965）年頃になるとサラリーマンの収入が農業収入の 18 倍といわれるような時代になり、伊藤家でも昭和 35（1960）年、36（1961）年に現在の金程 1 丁目あたりに共同所有していた土地を売却したという [川崎市立日本民家園 2007：22]。つまり、記録中の作物は共同所有していた土地で栽培していたことも考えられる。また、柿の記述が出てくるが（1 月 7 日など）、これは金程で育てられている禅寺丸という品種だと思われる [川崎市立日本民家園 2007：24]。その他、富有柿も育てていたようである（10 月 22 日）。

なお、記録中には「○に中」市場という標記の市場が度々出てくる（1 月 2 日など）。これは報告書によれば東京都の調布にあった丸中市場であり、5、6 人が共同で野菜を出荷していたという。ただし、出荷といっても酉造氏ら

が運ぶのではなく、集落の特定の場所に置いておくと、市場の方から取りに来たという [川崎市立日本民家園 2007 : 24]。

肥料については、化成肥料 (表 4、6、17、24、28、35) 鶏糞 (表 6、17、28、35)、尿素肥料 (表 22)、過石とあることから過リン酸石灰 (表 6、表 24) を使用していることが確認できる。

## ●交通

「しおり」の随所には酉造氏が出かけた記録も残されている。東京都市谷 (1月8日)、九段 (2月9日)、片平 (2月12日、11月3日、12月15日)、向原 (2月13日)、宿河原 (2月13日、4月11日、8月16日、10月2日、10月8日、9日、10日、11日、12月15日)、静岡県伊豆伊東 (2月25日)、高石 (3月9日、8月15日、9月21日、12月9日、10日、11日)、長沢 (3月30日)、矢ノ口 (3月30日)、細山 (4月5日)、溝の口 (5月6日、8月16日、24日)、登戸 (5月28日、10月30日)、新宿 (6月1日)、柿生 (7月15日、11月24日、12月15日、16日、27日)、真福寺 (8月15日、18日、12月15日、16日)、細王舎 (10月21日)、上野 (9月3日)、埼玉県児玉 (9月16日)、深沢 (10月1日)、下丸子 (10月16日)、大作 (10月22日、26日)、おし沼 (11月3日、12月15日)、南加瀬 (11月6日)、平尾 (11月15日、12月16日)、高津 (12月27日) が確認できた。以上の記録をもとに、酉造氏の昭和 33 (1958) 年度の生活圈を提示したものが図 6 である<sup>4)</sup>。

10月21日には細王舎が出てくるが、これは金程の近隣地区である高石にあった農業機械メーカーのことかと思われる。細王舎は昭和 35 (1960) 年に小松製作所の系列に入り、その後厚木市に工場が移転するが、それまでは高石にあった [増田・杉本・高橋・服部 2009 : 36]<sup>5)</sup>。

また、車を取りに行く、車検に行ったという記述がみられる (8月16日、24日)。伊藤家ではオート三輪車を昭和 23 (1948) 年に購入し、10年ほど使用したということから [川崎市立日本民家園 2007 : 30]、ここで車とされているのはオート三輪車である可能性がある。

川崎市外の遠方に出る記述としては、例えば1月8日には病気の治療のた

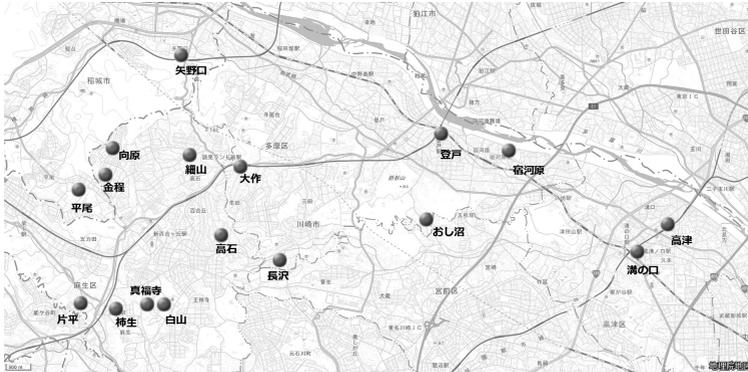


図 6 昭和 33 年の川崎市における交通圏（国土地理院地図より引用後、筆者が加工）

め、東京都の市谷に出かけている。2月25日には静岡県伊豆伊東に1泊旅行に出かけている。

本稿の翻刻では具体的な病院名は伏せ字としたが、病院に行った記述が特に1月から2月にかけて散見される（1月3日など）。報告書によれば、一番よく行ったのは片平（麻生区）の安藤という病院で、生田（多摩区）の当麻や能ヶ谷（町田市）の病院も利用したという。その他、歯の治療には調布の石原、目の治療には溝の口（高津区）<sup>6)</sup>の津田眼科へ行ったというが〔川崎市立日本民家園 2007: 21〕、今回の「しおり」ではこれらの病院は確認することができなかった。

さらに、9月には台風の被害の結果、道路普請などの記述が見受けられる（18日など）。例えば27日には道路普請の記録があるが、これは狩野川台風の被害のことと思われる。狩野川台風は1958年9月26日21時過ぎに静岡県の伊豆半島南端をかすめ、27日0時頃神奈川県三浦半島、1時頃東京を通過し、早朝に三陸沖に進んで海岸沿いを北上した。この台風は風による被害は少ないものの、関東地方では大雨による被害が大きかった<sup>7)</sup>。川崎市内各地にも甚大な被害を与え〔細山町会と郷土の歩み出版委員会 1994: 138〕、記述の中には26日の台風のために田に土砂が飛び出し、6畝（約600平方メートル）ほど埋まったとの被害が確認できる（9月欄外）。9月18日の天気が暴風

雨となっており、欄外に台風 21 号の記述がある。台風 21 号は 18 日に関東に上陸していたことも 9 月 26 日前後の記述が狩野川台風によるものであったことを裏付ける記述といえよう<sup>8)</sup>。

### ●年中行事・祭礼・人生儀礼

9 月 1 日には風祭とあり、これは細山神明社での風まつりのことだと思われる [川崎市農耕習俗調査団 1989: 90]。田中によれば、風まつりは細山神明社に集まり、お神酒をあげ、簡単に酒をいただいて風が穏やかであるように祈ったものであるという [田中 1980: 7]。また、9 月 22 日に高石で夜に祭りが開かれていた記録がある。高石は金程の近隣の地区である。民家園の報告書によれば、9 月 24 日は細山神明社の祭りであったといい [川崎市立日本民家園 2007: 36]、廣一氏提供の情報でも、昭和 33 (1958) 年当時の細山神明社の祭りの日は 9 月 24 日に行っていたという<sup>9)</sup>。そのため、高石神社の祭りの可能性もあり得る。

また、年末については 12 月 27 日には金程での忘年会があり、28 日には詳細は不明だが「みつち会」なる会合が行われている。30 日には餅つきを行っている。報告書によれば餅をつく日はおおよそ決まっており、12 月 29 日につき、30 日に切っていたという [川崎市立日本民家園 2007: 31]。この年は 30 日についていたということから、例年とは違う日についていた可能性がある。31 日には夜に消防役員会が行われていた。

次に年始に目を向けると、1 月 1 日は休みとしていたようである。この日に雪が降ったためか、2 日に雪はき (ママ) を行い、初市に行った。3 日はりウマチのため医者に行き、4 日は就寝とのことである。5 日には来客があり、おせち料理を食し、6 日から仕事始めだったということである。2 月 4 日には「ねり機のみで餅突き (ママ) をやる」とある。

その他、4 月 25 日には金程の水祭りの記述がある。これについては先行研究ではふれられていなかったため不明である。

## ●社会組織

社会組織として、細山倶楽部各団体役員会（4月5日）、小学期成会役員会（6月9日）、暗渠組会長（6月9日）、勝青□役員会（9月17日）、消防役員会（11月25日、12月15日、31日）養豚總會（12月23日）、みつち会会合（12月5日、28日）、果樹役員会（6月27日）が確認できた。

## ●その他

3月の記録から、各行動の後ろに数字が記述されるようになる。特記事項欄をみると、それぞれの月の作業時間や手伝い人数を計算している箇所があり（表30）、おそらく作業時間か手伝い人数を記録しているものである。

以上本章では「しおり」の記述から読み取り得る情報のいくつかを拾い、既刊資料との照合を試みた。全体として農作業記録が多いものの、農作業以外の日常の生活の様子も垣間見ることができたといえよう。

## おわりに

本稿では、伊藤家の昭和33（1958）年の農業および日常が記録された文書「しおり」の翻刻と若干の内容紹介を試みた。本資料は多摩丘陵の農家の一年の生活が把握できるものであり、農業だけでなく、様々な記録をとっていることから、農作業以外の日常的な生活も把握することができる。こういった日記類からは民俗学では、例えば倉石忠彦が試みたような生活暦の提示〔倉石2020〕を行っていくこともできる<sup>10)</sup>。また、農業記録としてみた場合、例えば玉井里奈が用いたような稲作暦・畑作暦〔玉井2018〕を作成していくことも可能である。これらの日常生活を把握していく際に、特に興味深いと思われるのは生活圏の問題である。伊藤家では車を所有していたこともあり、資料内では度々金程以外の地域が出てくることがあった。例えば溝の口・高津は車を取りに行くといった記述の中で登場したが、その地域が執筆主体によってどのような地域としてとらえられているかを把握していくことができ

るのも魅力であるといえる<sup>11)</sup>。

今回は昭和 33 (1958) 年度の記録のみだが、民家園では本稿対象資料の他に昭和 11 (1936) 年～15 (1940) 年の様子を記録した「種苗日記帳」(資料番号: 2021-001-D-151) や、昭和 20 (1945) 年～28 (1953) 年を記した「農作物日記」(2021-001-D-154)、昭和 22 (1947) 年～23 (1948) 年までを記した「家計簿」(2021-001-D-153) をあわせて寄贈を受けた [川崎市立日本民家園 2022: 23]。こういった資料を翻刻していくことにより、複数年にわたる検討をしていくこともできよう。今後の課題としたい。

## 謝辞

本稿の執筆にあたっては、伊藤家現当主の伊藤廣一氏に多大なご協力を賜りました。この場を借りて深く感謝いたします。

## 注

- 1) 図 1～4、6 は国土地理院の地理院地図を参照した。  
<https://maps.gsi.go.jp/#5/36.104611/140.084556/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1> (2022 年 11 月 13 日閲覧)
- 2) 産業組合の購買事業部門の全国連合組織。全国購買組合連合会といい、大正 12 (1923) 年に設立され、第二次大戦後の民主化政策の過程で全国購買農業共同組合連合会として再発足した [清水 1987: 405]。
- 3) ただし、昭和 34 (1959) 年度や昭和 35 (1960) 年度の記録も特記事項欄には記載されている。
- 4) 当時の地図が手に入らなかったため、国土地理院の地図をもとに作図した。
- 5) 細王舎の歴史については [増田・杉本・高橋・服部 2009] が詳しいため参照されたい。
- 6) 翻刻内では地名として溝の口 (川崎市) が度々出てくるが、「溝ノ口」「溝の口」と表記が揺れている。そのため、本文中では「溝の口」表記を用いることとする。
- 7) 国土交通省気象庁 HP 狩野川台風 昭和 33 年 (1958 年) 9 月 26 日～28 日  
<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/report/1958/19580926/19580926.html> (2022 年 10 月 21 日閲覧)
- 8) 台風 21 号のルートについては以下を参照。  
国土交通省気象庁 HP 台風経路図 昭和 33 年 (1958 年)

[https://www.data.jma.go.jp/yoho/typhoon/route\\_map/bstv1958.html](https://www.data.jma.go.jp/yoho/typhoon/route_map/bstv1958.html) (2022年10月21日閲覧)

- 9) なお、廣一氏提供の情報によれば、細山神明社の例大祭の日程は、終戦直後は10月6日、現在は10月の第1週の日曜日に行っているという。
- 10) 民俗学における日記資料の活用の可能性、限界については、例えば〔川村・小池2019〕が詳しいため参照されたい。
- 11) 筆者は溝の口を対象とした調査を行っており〔真保2022〕、本資料は昭和33(1958)年頃の溝の口が、近隣地域の生活者にどのように把握されていたのかを検討できるため、大変興味深い。

## 参考文献

- 〔角川日本地名大辞典〕編纂委員会・竹内理三(編)  
1984『角川日本地名大辞典 14 神奈川県』角川書店
- 川崎市農耕習俗調査団(編)  
1989『川崎市民俗文化財調査報告書』川崎市市民ミュージアム
- 川崎市立日本民家園(編)  
2007『旧伊藤家住宅 日本民家園収蔵品目録8』川崎市立日本民家園
- 川崎市立日本民家園(編)  
2022『旧伊藤家住宅 日本民家園収蔵品目録8 補遺』川崎市立日本民家園
- 川村清志・小池淳一  
2019「民俗学における日記研究の展開とその可能性」『国立歴史民俗博物館研究報告』214
- 倉石忠彦  
2020「地域社会における『オチャ』の機能」『信濃』72(8)
- 清水洋二  
1987「全国購買組合連合会」国史大辞典編集委員会(編)『国史大辞典 第8巻』吉川弘文館
- 真保元  
2022「駅前広場の民俗学・試論―「迷惑」という感情と場所を視座に―」『現在学研究』9
- 関口欣也  
2003『多摩丘陵の農家 1955年細山―日本民家園の発端―』川崎市立日本民家園
- 田中宣一  
1980「多摩区程程の民俗」『川崎市文化財調査集録』15
- 玉井里奈  
2018「千葉県館山市神余における「農」の成り立ち―農業日誌の分析をもとに―」『常民文化』41
- 平凡社地方資料センター(編)  
2002『日本歴史地名大系第13巻 東京都の地名』平凡社
- 細山町会と郷土の歩み出版委員会

1994『細山町会と郷土の歩み』細山町会と郷土の歩み出版委員会

増田昭子・杉本浄・高橋典子・服部隆博

2009「細王舎の歴史について—川崎の近代農機具メーカーが残した“ものづくり”の歴史的遺産—」

『川崎市文化財調査集録』45